

ベトナム・ハノイ市で 舗装ワークショップ

大成ロテック

大成ロテックは5月31日にベトナム・ハノイ市で、ベトナム交通運輸大学と共催の舗装技術に関するワークショップを開いた。写真。日本とベトナムの舗装マネジメントの現状や最新の舗装技術などを紹介した



ほか、舗装の上を車で走行した際の乗り心地を測定する同社技術のデモンストレーションを行った。

ワークショップには道路建設関係者を中心に約100人が参加。ベトナム道路総局や日本の国土交通省、大成建設からも来賓が出席した。

冒頭にあいさつした松山英吉代表取締役専務執行役員は「ワークショップを通じて両国間の情報交換や技術・人的交流を深め、ベトナムのさらなる発展に貢献したい」と話した。

大成ロテックが開発した乗り心地を測定する装置「STAMPER II」のデ

モンストレーションでは、参加者は測定車に乗車してハノイ市内を走行しながら、モニターに映し出された乗り心地を示す数値・IRIの変化を確認した。STAMPER IIはタイヤを外した車軸と車体の2カ所に加速時計を取り付け、走行中に道路の凹凸などを読み取って乗り心地を計測する。